

映像の中で使われている舞台用語一覧および説明

用語	読み方	説明
台本	だいほん	お芝居の脚本のこと。登場人物のセリフや感情、シーンの情景などが細かく書かれている本のこと。
読み合わせ	よみあわせ	それぞれの役者が台本のセリフを声に出して読み合うこと。
オーディション	おーでいしょん	イメージに合う役者を決定する為に、演技・歌・ダンスなどの技能を審査すること。
配役	はいやく	作品の登場人物を、どの役者が演じるか、役を割り当てること。
段取り渡し	だんどりわたし	芝居の立ち位置や出入り場所、動きなどを演出家が役者に指示をすること
当パン	とうぱん	「当日パンフレット」の略称。本番当日に来場者にお渡しする、役の説明などが書かれた冊子。
グリッド	ぐりっど	稽古をする際に、実際のステージで舞台セットが配置される場所や、段差などをイメージできるように、ヒモを使ってひいた基準の線。
舞台図面	ぶたいずめん	舞台セットがどのように配置されるのかを記した図面
平台	ひらだい	舞台上に段差をつける場合に使用される、木で作られた台のこと。
ディスカッション	でいすかつしょん	物語の理解をより深めるために、台本や役について自由に意見を出し合うこと。
小屋入り	こやいり	本番を行う劇場に入り、準備を始めること。主に公演期間の初日をいう。
仕込み	しこみ	舞台セットや照明・音響などの機材を、本番用にセッティングすること。
インカム	いんかむ	「インターカム」の略称。離れた場所にいるスタッフ同士が連絡を取り合うために使う、通話システム。
演出家	えんしゅつか	役者の演技や照明・音響などの効果、舞台装置などを利用して作品全体を創り上げることを「演出」と言い、その役割を担う人を「演出家」という。
舞台監督	ぶたいかんとく	舞台を統轄する現場の最高責任者。演出家の意図を舞台に実現させるためセットや装置を決めたり、音響や照明・裏方などのスタッフの統括、場面転換を指揮する役割の人。
制作	せいさく	公演日や使用する劇場を決めたり、予算の管理やスタッフの手配、スケジュール調整、宣伝、観客動員など、公演の立ち上げから終了まで、ありとあらゆる仕事をする役割の人。
照明技師	しょうめいぎし	照明機器を操作・調整する技能をもち、舞台の光を作り出す人。
音響技師	おんきょうぎし	音響機器を操作・調整する技能をもち、舞台に音を鳴らす人。
振付師	ふりつけし	作品で使われる楽曲のイメージに合うよう、ダンスなどの振りをつけ、それを役者に教え、指導する役割の人。
殺陣師	たてし	時代劇、現代劇問わず、格闘場面などで役者の体・武器を使って表現することを『殺陣』といい、その振り付けや指導を行う人を『殺陣師』と呼ぶ。
歌唱指導	かしょうしどう	曲種に応じた歌い方や、自然で無理のない発声方法などを教える人。
小道具	こどうぐ	舞台の中で役者が使用したり、持ち歩く道具のこと。細かい飾り道具や、イスやテーブルなどの家具も、小道具と呼ばれる。
衣装	いしょう	出演者が身に着ける衣服のこと。
クライアント	くらいあんと	イベントの主催者。依頼人。